

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【公開番号】特開2008-110093(P2008-110093A)

【公開日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2006-295271(P2006-295271)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 C

A 6 3 F 7/02 3 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月23日(2009.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各種入賞部を有する遊技盤に遊技球を流下させて、これら入賞部に遊技球を入球させるように遊技を行う遊技機であって、

上記遊技盤が、複数の可変入賞装置と少なくとも1つの特別入賞口とを有するとともに、

上記各可変入賞装置の中の2以上の可変入賞装置を遊技球の入球の容易な開状態とするように動作する開放リンク機構と、

上記特別入賞口に入球した遊技球を流下させる球通路と、

上記開放リンク機構と連結して設けられ、上記球通路にて遊技球と当接し該遊技球により初期位置から所定位置に回動されて、上記開放リンク機構を動作させるリンク作動部材と、

上記リンク作動部材を常時上記初期位置に向けて回動させるように付勢するリンク作動部材付勢手段と、

上記リンク作動部材が上記初期位置にあるときに該リンク作動部材と係合して上記開放リンク機構を動作不可能とする係合位置と、その係合が解除されて上記開放リンク機構を動作可能とする係合解除位置との間で搖動自在に設けられ、且つ上記球通路における上記リンク作動部材と遊技球との当接位置よりも上流側で遊技球と当接し該遊技球により上記係合位置から上記係合解除位置に回動される規制部材と、

上記規制部材を常時上記係合位置に向けて回動させるように付勢する規制部材付勢手段と、を備え、

上記リンク作動部材付勢手段が、遊技球により上記規制部材との係合が解除されて上記所定位置まで回動されたリンク作動部材を、上記規制部材付勢手段の付勢力に打ち勝って上記初期位置まで回動させて上記リンク作動部材を上記規制部材と係合するように構成されている、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

上記遊技盤が一側端部を中心に回動可能な扉体に支持されるとともに、上記球通路が、特別入賞口から下方に向かう通路部分と、この通路部分から、遊技盤の回動支持とは反対

側の略横方向に向かう通路部分を経て、遊技盤の回動支持とは反対側に向けて凸に湾曲されている部分とを含み、該凸に湾曲されている部分の少なくとも湾曲の外側壁の側に位置するように上記規制部材が配設されている、ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

**【請求項3】**

上記球通路が、上記リンク作動部材と遊技球との当接位置において、上記リンク作動部材の回動半径に対応する曲率で湾曲し、該リンク作動部材が遊技球を受け止めた状態で所定の回動角度の範囲を回動するように構成してある、ことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

**【請求項4】**

上記規制部材は、上記リンク作動部材が上記リンク作動部材付勢手段の付勢力により上記所定位置から上記初期位置に回動するときに摺接する摺接曲面を有し、該摺接曲面に摺接する上記リンク作動部材により上記規制部材を上記係合解除位置側に押し戻して、上記規制部材を上記リンク作動部材と係合させる、ことを特徴とする請求項1乃至3に記載の遊技機。